

## ☆市民活動をFMラジオで発信☆ 『つなげよう！市民のチカラ！』



写真：熊澤さん

○第105回：2024年3月24日（日）

○ゲスト：弘前相撲甚句愛好会

代表 熊澤 孝（クザリ 効）さん

### ○ 放送内容

今回の放送では、弘前相撲甚句愛好会代表・熊澤孝さんをお招きしました。熊澤さんには今回、相撲甚句とは何か？というお話から、会の活動内容、活動への思いについてお話しいただきました🎧

### ◆ 相撲甚句（すもうじんく）って何？

相撲甚句とは、日本古来から伝わる伝統芸能の一つです。江戸時代末期から明治時代にかけて流行った邦楽で、相撲力士が花街で覚えた甚句を土俵上で歌ったのが起源だそうです。現在は「花相撲」と言われる慈善相撲、奉納相撲、引退相撲、地方巡業等で力士が披露する七五調の囃子歌として知られており、取り組みの前に余興として歌われています。甚句のレパートリーには、昔から伝統的に受け継がれてきたもののほか、地域ごとの特徴（名勝）が反映されてアレンジされたものなど、様々あるそうです。

### ◆ 熊澤さんが相撲甚句を始めたきっかけは？

熊澤さんが代表を務める弘前相撲甚句愛好会は、平成24年に結成した団体です。熊澤さんは令和3年に、2代目として代表を受け継ぎました。実は熊澤さん、結成当初から入っていたメンバーではありません。熊澤さんが会に加入したきっかけは、職場の先輩方が会に入っており、その方々が披露する相撲甚句を見て「面白い！」と感じたことだそうです。メンバーの皆さんは相撲甚句が大好きで、師範の先生に教えていただきながら、楽しく活動を続けています🎧

### ◆ 相撲甚句を多くの方に知ってほしい！

今年度は2/23（金・祝）にヒロロで開催された「市民協働交流まつり」のステージ発表や、地域で行われている文化祭などで相撲甚句を披露しているほか、依頼があった際には、市内のデイサービスセンター等の福祉施設でのボランティアとして、相撲甚句を披露しているそうです。相撲甚句を聞く機会がないという市民の方も多いかと思いますが、自分たちのイベントや集まり等で「相撲甚句を聞きたい、披露してほしい！」という希望がありましたら、ヒロロ3階の市民参画センター（ひろさきボランティアセンター）までお問い合わせ、ご相談ください🎧